

# 『ほんまのお店みたい!』 4歳児 12月



## エピソード

お寿司屋さんごっこをしていたA児。回転寿司のレーンに見立てた囲いの内側に入って店員役を楽しんでいました。お客さん役のB児が注文をすると、「はい、どうぞ!」と張り切った様子でお皿を手渡し、なりきってやりとりするを楽しんでいました。

すると、ふと友達が座っていない方を向き、真剣な表情で立ったままレーン上でお皿を動かしたり、しゃがんで客席側から頭が見えないように低くなった状態でお皿を動かしたりし始めました。保育者が「お皿が回っているみたいだね」と声をかけると、ニヤッと嬉しそうな表情になりました。

それを聞いていた周りの友達も、「どんなどんなん?」と大注目! A児がもう一度して見せると、「わー!ほんまのお店みたい!」と拍手が起きていました。A児は照れながらも嬉しそうに笑っていました。

## 保育者の思い

☆ **イメージを膨らませてなりきることを存分に楽しんでほしいと考えています。**

⇒ レーンや寿司など子どもたちの声から環境を用意しています。

☆ **思いついたことをどんどんしてみたり、友達の考えていることにも気づいたりしてほしいと思っています。**

⇒ 子どものしていることを言葉にしながら共感し、一緒に驚いたり喜んだりしています。

## 子どもの育ちや学び

お寿司屋さんに行った生活経験を取り入れて遊んでいます。

“レーンの上を進むお皿”  
→ お皿はどうやって動いているのかな・・・

社会生活との関わり

思考力の芽生え

- ・ 共通のイメージの中で友達と言葉や動作でのやりとりを楽しんでいます。
- ・ 友達のしていることに“いいな”と感じたり、それを素直に言葉で伝えたりしています。

言葉による伝え合い

豊かな感性と表現

★「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」とは、こども園で乳幼児期にふさわしい遊びや生活を積み重ねることにより、幼保連携型認定こども園の教育及び保育において育みたい資質・能力が育まれている園児の具体的な姿であり、特に5歳児の後半に見られるようになる姿。  
(幼保連携型認定こども園・教育・保育要領解説より)

## 家庭だったら・・・

◎ごっこ遊びで何かになりきる事が大好きな子どもたち。ぜひお家の方も、世界観に入り込んでやりとりを楽しんでみてくださいね。子どもにはこんな風に見えるんだな、と発見があるかもしれません♪